俊寛

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-001
国立国会図書館

十キ訂

是ハ原相國に仕へ中老すべし
扨も此度中宮清産の清祈里所
為に非常乃大赦行ひしにより
國々所流人赦免あるべきなりかも
鬼界の嶋の流人乃うちゞ丹波乃
少將なりしてまゞ原本有康朝二人
赦免所清使をもて案所清てし置

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-002
国立国会図書館

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-003
国立国会図書館

唯々鬼界の嶋へ出し急ひ（二六次第）神を
明はふり嶋なれば（一八一下）ゝ願ひも
見渡乃山なれば（サシ）こゝ程を九州
さ渡まゝ鬼界の嶋乃海人ゝ
中舟渡乃お物出縁所東方へ見
（下）康頼ご人り呆まて以あわ（レハ）所に
都よあるし時熊野宗詣三十

三度ゝ都あ申見を出さ出さ願
（下）をし小宮なりハよも数たらて
がゝ家壹流乃身出な程を所願も
せなしくりやなわぬぞめて落
事ゝ都ゝ小やぞ嶋小三熊野を
勸請ゝ宮古より是ゝ都ゝ中乃九十
（一八一下）（下三の）
九所の五子まゝて出とくゝ

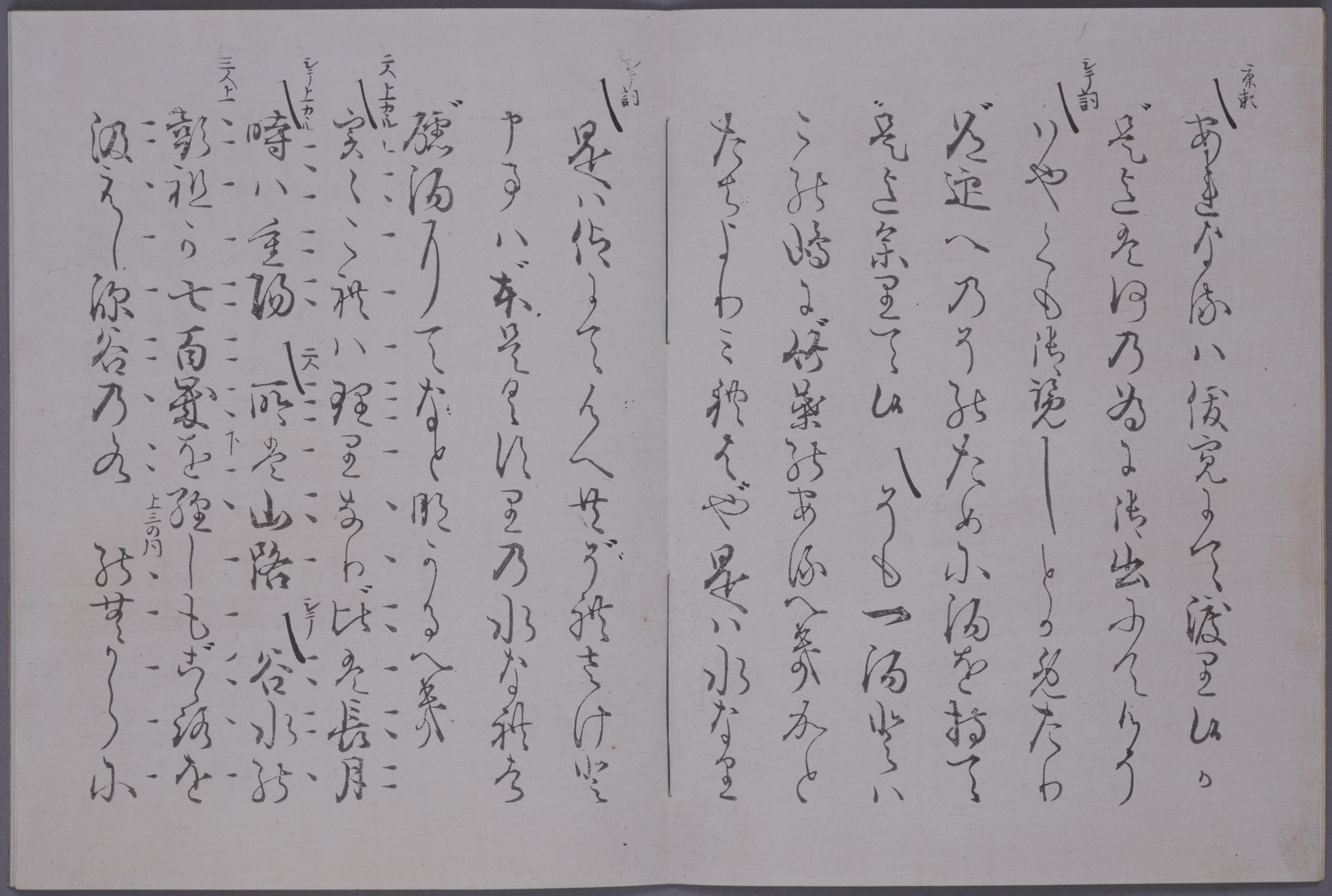
上三の

此礼乃神語小ぬさ我持清く
さくとても相明し見やぬ空
三熊野乃ぐくうしろ我を向いふ
ひとへな御庭太乃さほ御くを
たゝ王まゝ落白衣すてざ府を
とわて茂米にさしゆふ我
下
清祓して祢にあ申見をたこふ

下
なわくく　乃ち我よ我まゝて
三ノ一拝
鬼界の崎当空所る身乃たて我
闇きよ里冥き人ようべ永々御
サシ
玉兎屋眠雲母乃地美能宿可
不備乃枝葉蟬吉木を抱てなる
御くして水り亀をめくらさは
後寛の牙乃上にさしゆ祈てい

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-004
国立国会図書館

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-005
国立国会図書館



原軌
あまたなかはハ俊寛にて渡里ひ
そとそ何乃為に出ふてけり
シテ詞
りやくも清瀧しとも見たわ
ぬ迎へ乃ふ所たゝ小酒を持て
そとそ案里てひ　うも一酒ぬ
こ所時に好菓所あふへ義かと
たちよわこ稚そや是ハ水なり

シテ詞
是ハ仕まてくへ世ぞ稚きけ也
ヤすハ本是ハ里乃水な稚を
礫酒りてなと明うるへ義
二人上カル
実くこ稚ハ理里なわ比を長月
シテ上カル
時ハ重陽　二人
所を山路　シテ
谷水所
三人上
彰祖の七面愛を強しもぢ所を
上三の月
汲えし源谷乃ゐ　所せりし小

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-006
国立国会図書館

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-007
国立国会図書館

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-008
国立国会図書館

シテ
扨ハ亀老ハあやまわすくしゆう
ヤキ
いや案内ゆへ承ひも康和成経
二人ハ清信中俊寛一人をそ此
時小殘志中をとの清すくしゆ
シテ上
こそいりに罷も同し罷能出も
おなし配所非常もおなし大赦
なれはびとわちうひ給あ見ふ
もきて流見果なんすゆ老いりは
下クトキ
此程老三人云はあまたはなに
ざもおそ詠しまはせまし幾
あら破鳴は唯ひとまづ解きて
海士乃はて菜乃浪の藻く清給
よるんもなくてあらき世相の
法橋や嶺を小うひもなきを落

千年鳴なりわなげ横の所
同を感して　ハ花も後をそしき
ぞ所をうしろ見そ　ハ年も心成
うこゝのをまごそとよまと成此時ハ
鬼界の鳴ゆゝ　なれば鬼ある
所りてそまよまと所冥達なわ
年とひ叫りなる鬼なわ此幕

なとゝ言てゝ　天地を動し
鬼神も感をなれ所るも人所
あり所なれば　此時の年獄も
鳴ハ我をとふやゝ　上をめて
思ひ所あまわ小や先に読たる
巻物をぞひ来ひしき同し詞を
ぐわ不面しくぐ稚ともく

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-009
国立国会図書館

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-010
国立国会図書館

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-011
国立国会図書館

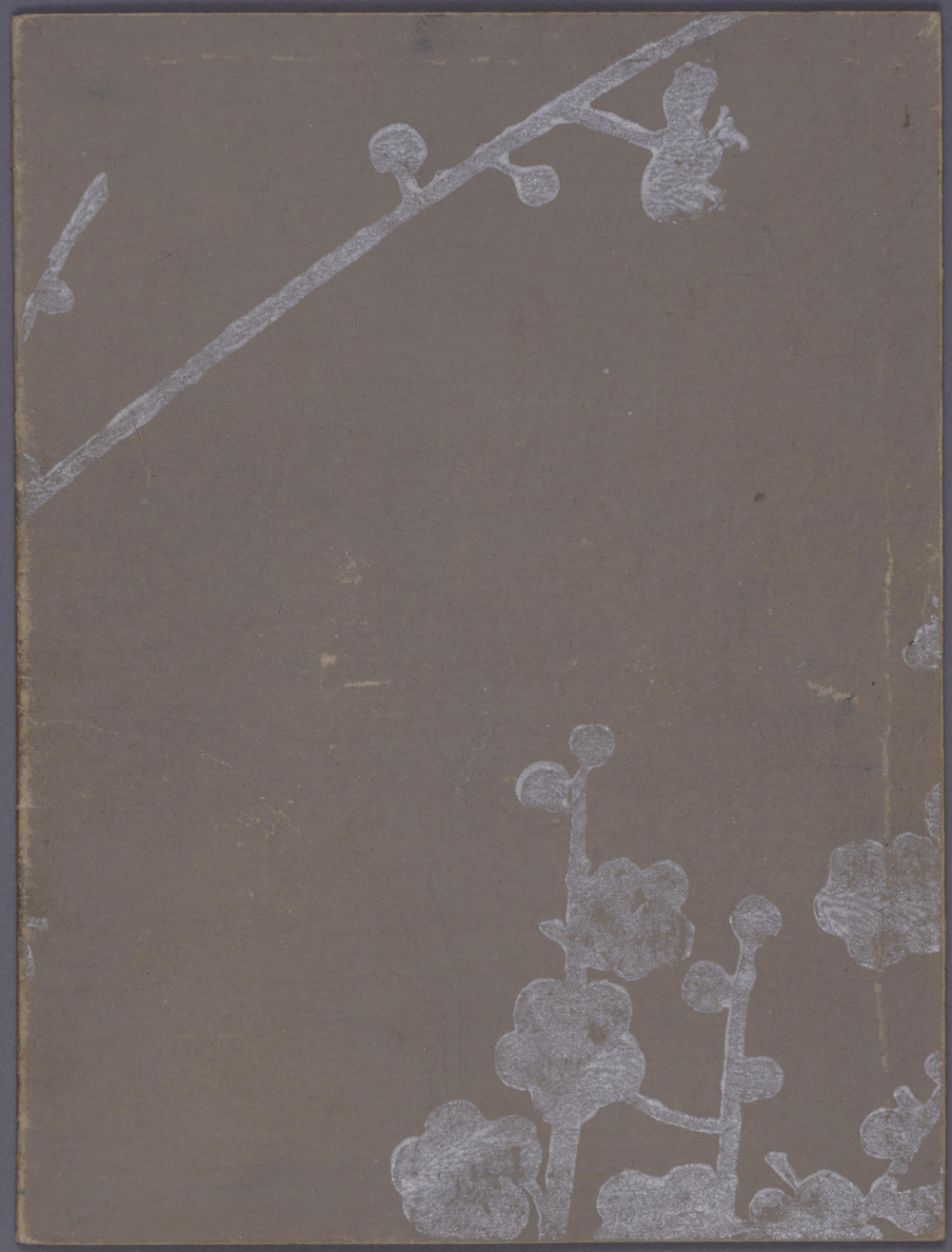
[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-012
国立国会図書館

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-013
国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-014

国立国会図書館



[謡本] 俊寛 1冊 WA7- 040-015

国立国会図書館